

第六十四回（平成三十年度）江戸川乱歩賞のお知らせ

日本の推理作家への最高の登竜門・江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）は、書き下ろし長編ミステリー小説（三五〇～五五〇枚）を公募し、昭和三十二年度の仁木悦子『猫は知っていた』以来、一昨年度の佐藤究『QJKJQ』に至るまで、大型新人と傑作を輩出してきました。

また、平成四年度からフジテレビジョンの後援を得まして、賞金一〇〇〇万円を贈呈し、受賞作品を同局にて随時映像化しております。本年度の応募作は三百四十八編の多さに達しています。すでに予選は終了、最終候補作四編を選考委員が精読中で、左記の通り選考委員会を開き、今年度の受賞作を決定いたしますので、候補作品名をあらかじめお知らせいたします。

○主催 日本推理作家協会（代表理事・今野敏）

○後援 講談社・フジテレビジョン

○選考委員 池井戸潤、今野敏、辻村深月、貫井徳郎、湊かなえ（五十音順）

○正賞 江戸川乱歩像

副賞 賞金一〇〇〇万円

○選考委員会 六月七日（木）

○受賞記者会見 六月八日（金）

●候補作品

「魔境の墓掘人」

碧井 行隆（あおい・ゆきたか）

「あかね町の隣人」

倉井 眉介（くらい・まゆすけ）

「狩人たちの原罪」

寺田 剛（てらだ・ごう）

「到達不能極」

齋藤 詠月（さいとう・えいげつ）